

## 2 一般診療所

### (1) 一般診療所数

ア 平成20年10月1日現在の一般診療所数は、3,960施設であり、前年（3,930施設）に比べ、30施設増加している。

イ 人口10万対一般診療所数は、55.7施設であり、前年（55.4施設）に比べ0.3施設増加している。これを全国（77.6施設）と比較すると、21.9施設少なくなっており、全国第47位である。

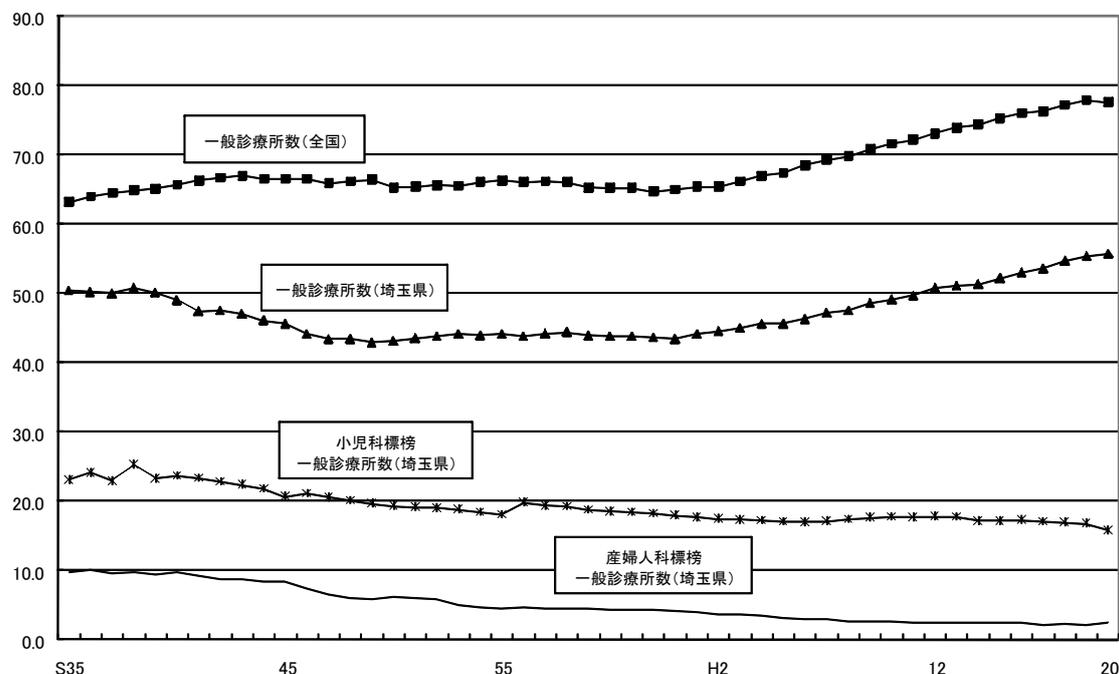
ウ 小児科を標榜する一般診療所は1,125施設で、前年（1,188施設）に比べ、63施設減少した。産婦人科を標榜する一般診療所は170施設で、前年（156施設）に比べ、14施設増加した。（表5、図9）

表17 一般診療所数の年次推移

		S35	40	45	50	55	60	H2	7	12	17	18	19	20	
埼玉	施設数	1 223	1 478	1 750	2 051	2 383	2 566	2 849	3 188	3 525	3 778	3 865	3 930	3 960	
	人口10万対	50.4	49.0	45.6	43.1	44.1	43.8	44.5	47.2	50.8	53.6	54.7	55.4	55.7	
	小児科 標榜	施設数	561	713	799	929	978	1 084	1 115	1 156	1 231	1 200	1 198	1 188	1 125
		人口10万対	23.1	23.6	20.7	19.3	18.0	18.5	17.4	17.1	17.7	17.0	16.9	16.8	15.8
	産婦人科 標榜	施設数	237	294	323	298	246	256	235	203	175	155	159	156	170
		人口10万対	9.7	9.8	8.4	6.2	4.5	4.4	3.7	3.0	2.5	2.2	2.2	2.0	2.4
全国	施設数	59 008	64 524	68 997	73 114	77 611	78 927	80 852	87 069	92 824	97 442	98 609	99 532	99 083	
	人口10万対	63.2	65.7	66.5	65.3	66.3	65.2	65.4	69.3	73.1	76.3	77.2	77.9	77.6	

注) 昭和59年以前は12月31日現在、昭和60年以降は10月1日現在

図30 人口10万対一般診療所数の年次推移



(2) 保健医療圏別にみた一般診療所数

ア 一般診療所数（総数3,960施設）を保健医療圏別にみると、さいたまの826施設が最も多く、東部の519施設、川越比企の432施設がこれに次いでいる。

イ 人口10万対一般診療所数を保健医療圏別にみると、秩父の78.4施設が最も多く、北部の69.1施設、さいたまの68.8施設がこれに次いでいる。（図31、図32）

図31 保健医療圏別にみた一般診療所数

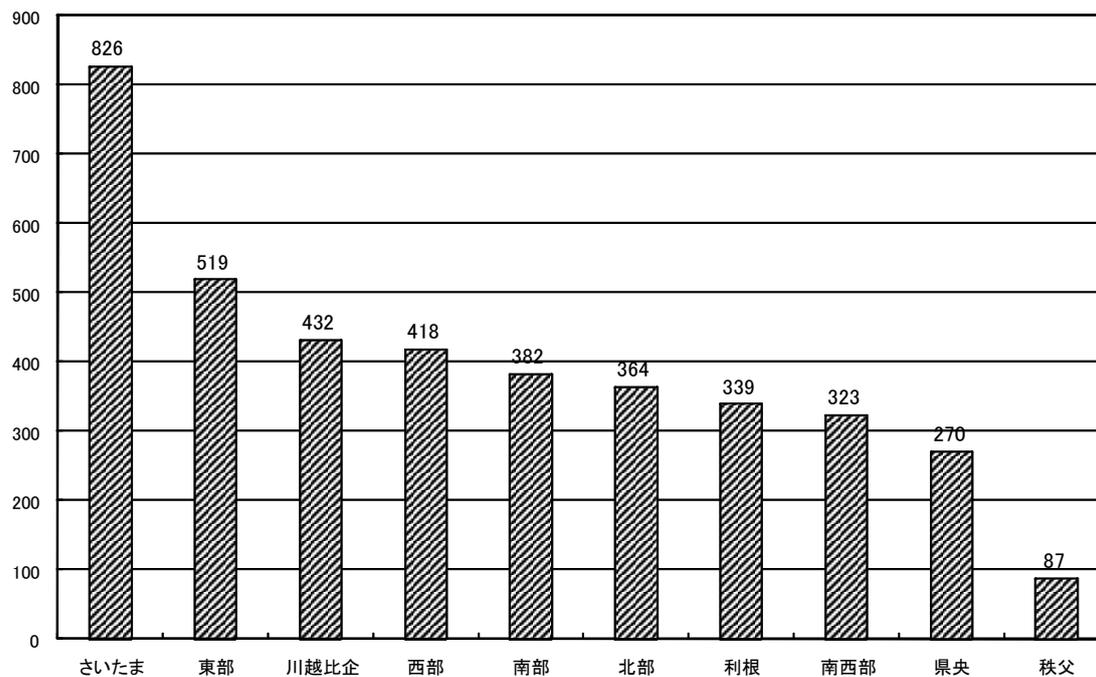
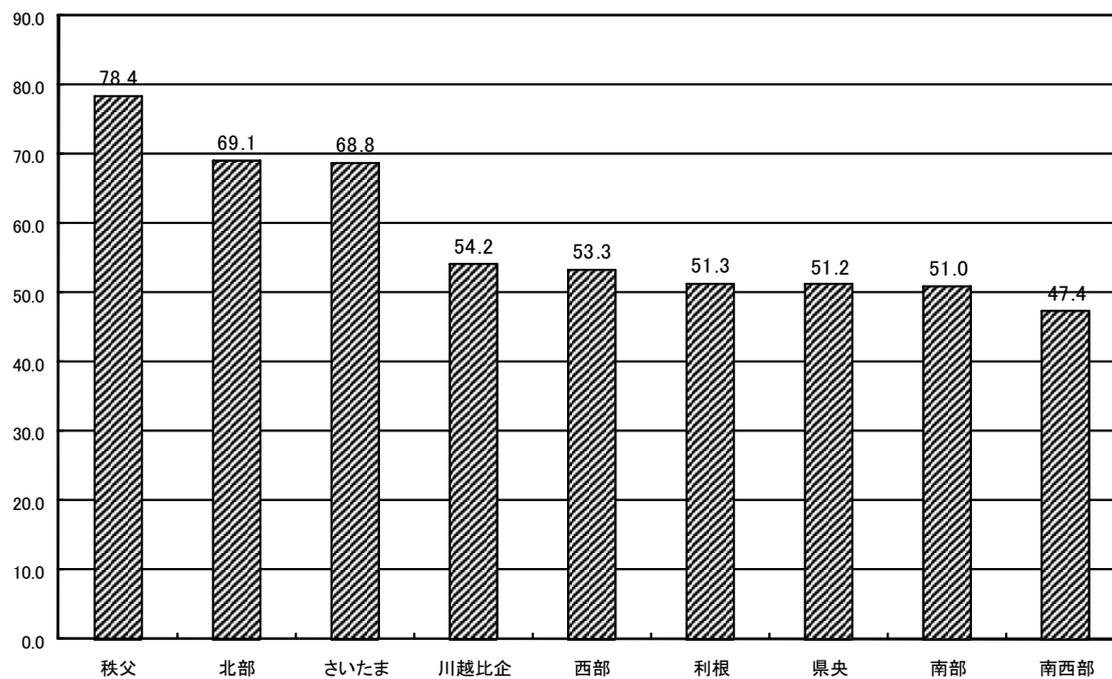


図32 保健医療圏別にみた人口10万対一般診療所数

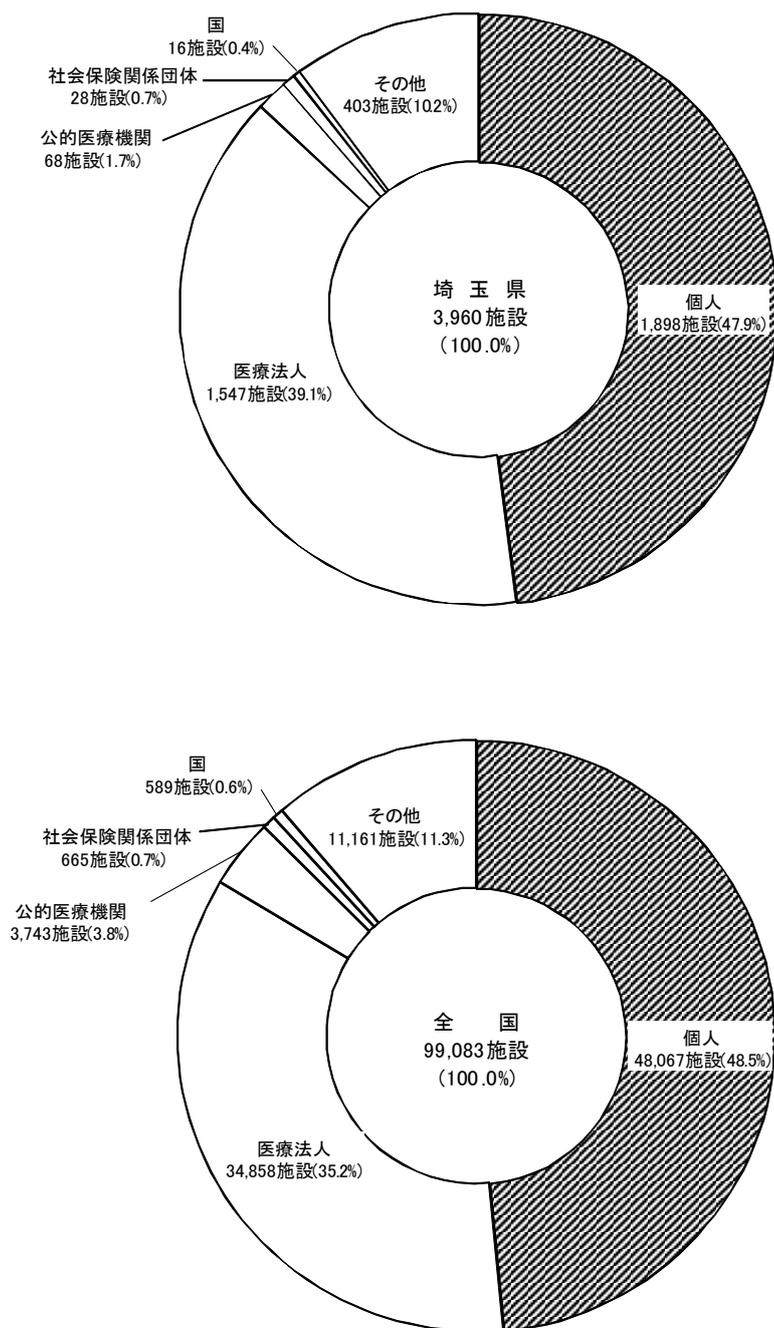


(3) 開設者別にみた一般診療所数

ア 一般診療所数を開設者別にみると、個人の1,898施設（一般診療所総数の47.9%）が最も多く、医療法人の1,547施設（同39.1%）がこれに次いでいる。

イ 全国の状況をみると、本県と同様に、個人の48,067施設（一般診療所総数の48.5%）が最も多く、医療法人の34,858施設（同35.2%）がこれに次いでいる。（図33）

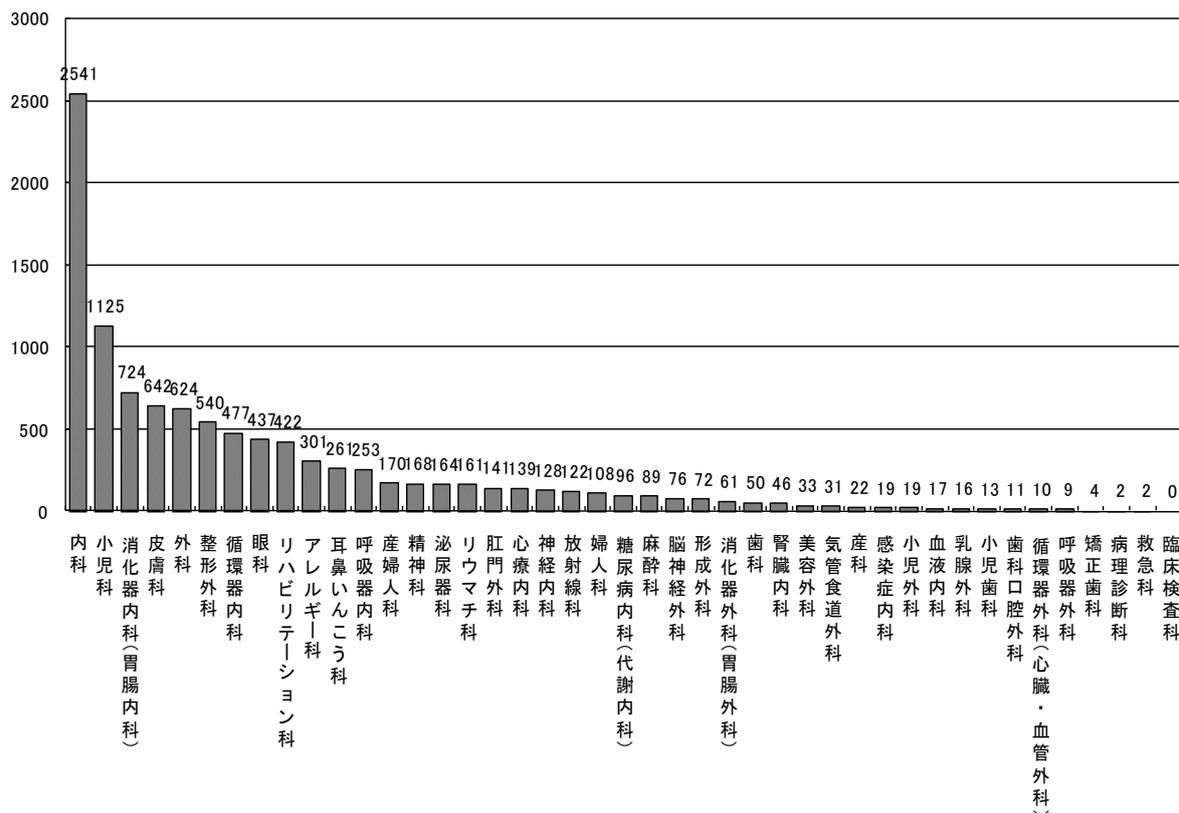
図33 開設者別にみた一般診療所の構成割合



(4) 診療科目別にみた一般診療所数

一般診療所数（総数3,960施設）を診療科目別にみると、内科を標ぼうする一般診療所が2,541施設（一般診療所総数の64.2%）と最も多く、以下、小児科が1,125施設（同28.4%）、消化器内科（胃腸内科）が724施設（同18.3%）、皮膚科が642施設（同16.2%）などとなっている。（図34）

図34 診療科目別にみた一般診療所数（複数回答）



(5) 有床一般診療所数及び病床数

ア 平成20年10月1日現在の有床一般診療所数は、362施設であり、前年と比べ11施設減少した。一般診療所総数（3,960施設）に対する有床一般診療所の割合は、9.1%で、前年（9.5%）に比べ0.4ポイント低下している。

イ 病床数は、4,021床であり、前年（4,020床）に比べ1床増加している。

ウ 人口10万対病床数は、56.5床であり、前年（56.7床）に比べ0.2床減少している。また、全国（114.8床）と比較すると、58.3床少なくなっており、全国第40位である。

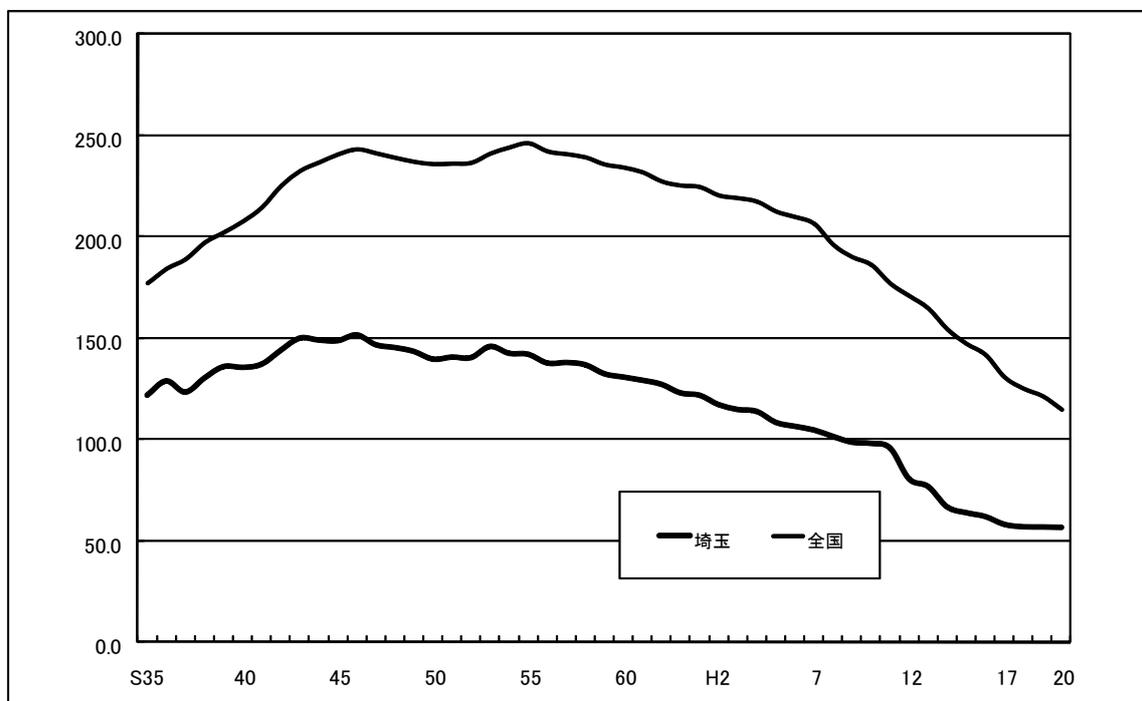
エ 有床一般診療所1施設当たりの病床数は11.1床で、全国の12.7床（全国の有床一般診療所数は11,500施設）と比べると、1.6床少なくなっている。（表18、図35）

表18 有床一般診療所数及び病床数の年次推移

		S35	40	45	50	55	60	H2	7	12	17	18	19	20
埼玉	有床診療所数	469	630	798	878	935	859	798	718	528	379	376	373	362
	病床数	2 966	4 094	5 837	6 740	7 684	7 672	7 515	7 081	5 586	4 091	4 014	4 020	4 021
	人口10万対 病床数	122.0	135.8	149.0	139.8	142.3	131.0	117.3	104.8	80.5	58.0	56.8	56.7	56.5
全国	病床数	165 161	204 043	249 646	264 085	287 835	283 390	272 456	259 245	216 755	167 000	159 898	155 143	146 568
	人口10万対 病床数	176.8	207.6	240.7	235.9	246.2	234.2	220.4	206.5	170.8	130.7	125.1	121.4	114.8

注) 昭和59年以前は12月31日現在、昭和60年以降は10月1日現在

図35 人口10万対有床一般診療所病床数の年次推移



(6) 保健医療圏別にみた有床診療所病床数

有床診療所病床数(総数4,021床)を保健医療圏別にみると、東部の596床が最も多く、さいたまの539床、利根の475床がこれに次いでいる。(図36)

人口10万対では、秩父の131.6床が最も多く、県央の78.6床、北部の75.4床がこれに次いでいる。(図37)

図36 保健医療圏別にみた有床診療所病床数

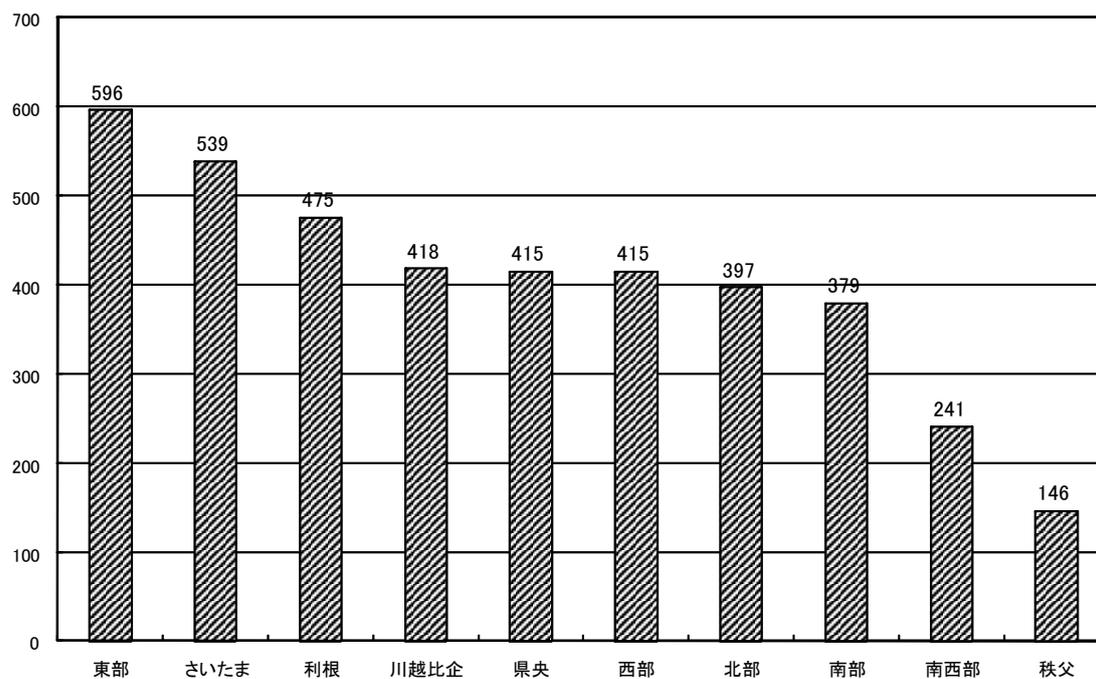
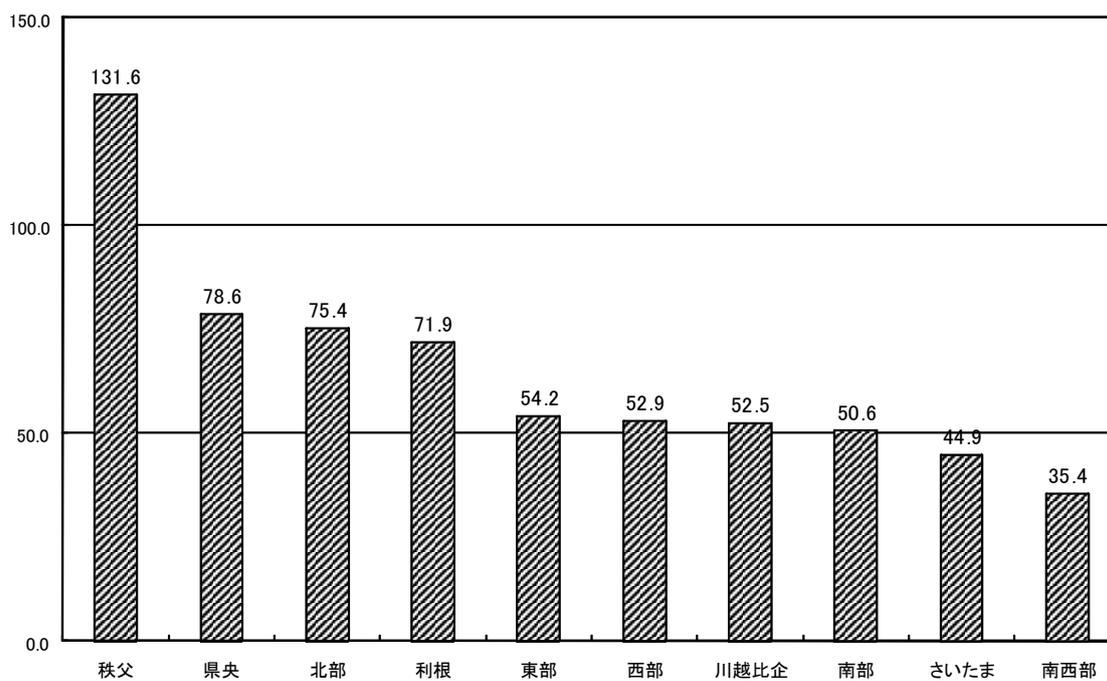


図37 保健医療圏別にみた人口10万対有床診療所病床数

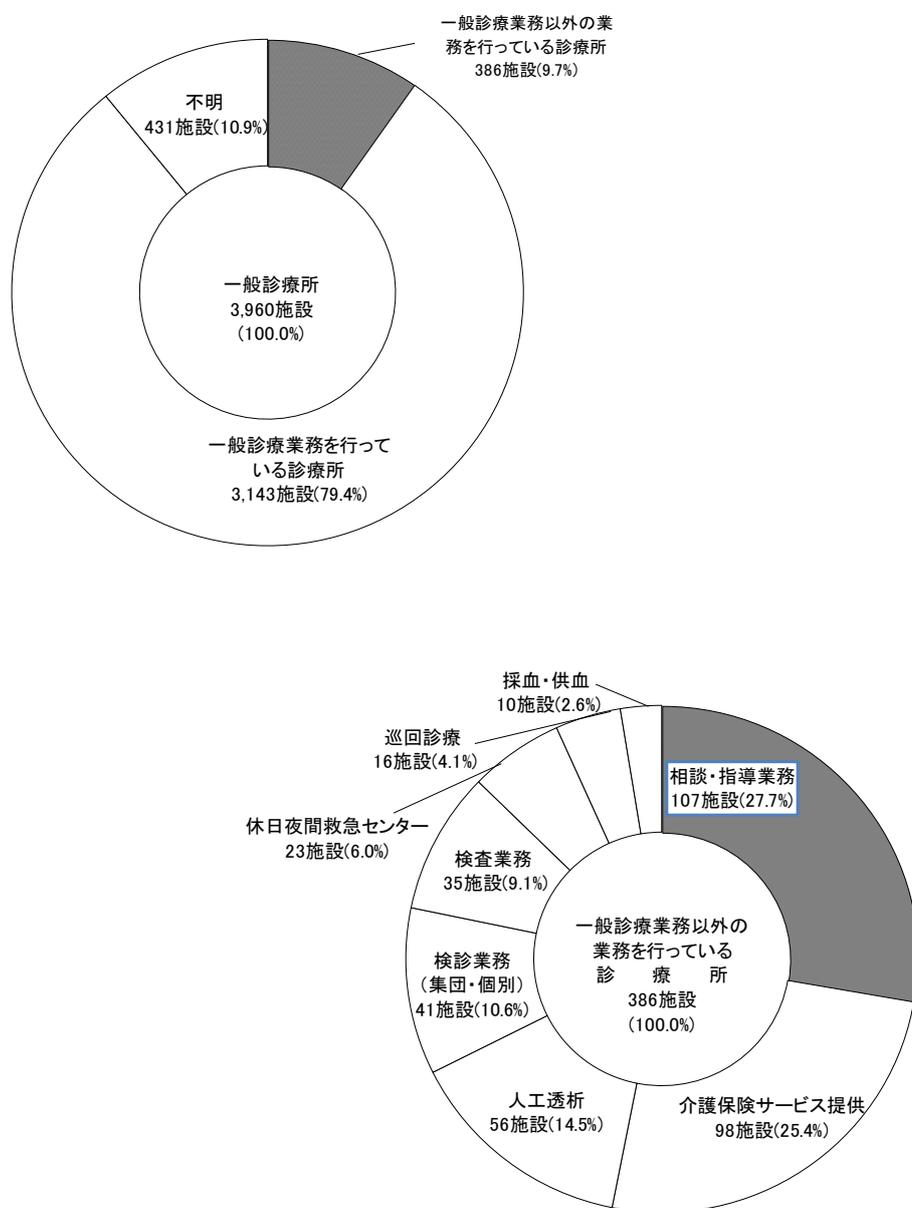


(7) 種類別にみた一般診療所数

ア 一般診療所数を種類別にみると、一般診療業務を行っている診療所が3,143施設（一般診療所総数の79.4%）で、一般診療業務以外の業務を行っている診療所は386施設（同9.7%）である。

イ 一般診療業務の以外の業務を行っている診療所の内訳をみると、相談・指導業務を主とする診療所が107施設（一般診療業務の以外の業務を行っている診療所総数の27.7%）と最も多く、介護保険サービス提供を主とする診療所が98施設（同25.4%）、主として人工透析を行う診療所が56施設（同14.5%）、健診業務（集団・個別）を主とする診療所が41施設（同10.6%）、などとなっている。（図38）

図38 種類別にみた一般診療所の構成割合



(8) 従事者数

ア 平成20年10月1日現在の一般診療所の従事者総数は27,482.8人であり、これを職種別にみると、事務職員の7,971.2人（従事者総数の29.0%）が最も多く、以下、医師の4,744.1人（同17.3%）、看護師の2,920.5人（同10.6%）などとなっている。

イ 全国の状況を見ると、従事者総数は699,202.1人であり、これを職種別にみると、事務職員の195,937.1人（従事者総数の28.0%）が最も多く、以下、医師の117,567.5人（同16.8%）、准看護師の89,697.4人（同12.8%）などとなっている。

ウ 一般診療所1施設当たりの従事者数についてみると、6.9人となっており、これを全国（7.1人）と比較すると、0.2人少なくなっている。（図39、表19）

図39 従事者の構成割合

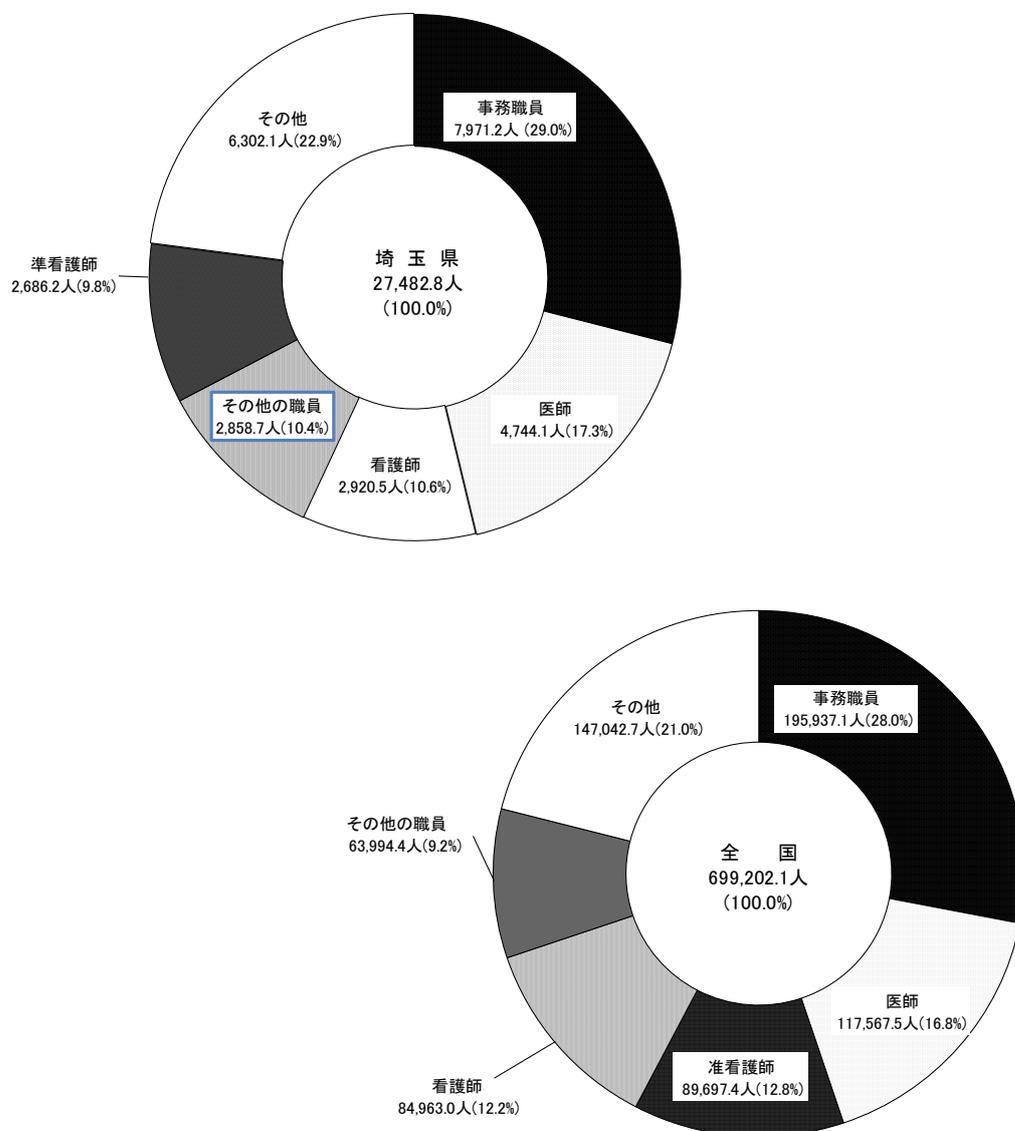


表19 一般診療所の従事者数

平成20年10月1日現在

	従事者数		人口10万対		100床当たり		1施設当たり	
	埼玉	全国	埼玉	全国	埼玉	全国	埼玉	全国
総数	27 482.8	699 202.1	386.4	547.6	683.5	477.0	6.9	7.1
医師	4 744.1	117 567.5	66.7	92.1	118.0	80.2	1.2	1.2
（常勤）	3 809.0	97 357	53.5	76.2	94.7	66.4	1.0	1.0
（非常勤）	935.1	20 210.5	13.1	15.8	23.3	13.8	0.2	0.2
歯科医師	59.5	1 881.3	0.8	1.5	1.5	1.3	0.0	0.0
（常勤）	45.0	1 257	0.6	1.0	1.1	0.9	0.0	0.0
（非常勤）	14.5	624.3	0.2	0.5	0.4	0.4	0.0	0.0
介輔	-	1.0	-	0.0	-	0.0	0.0	0.0
薬剤師	270.0	6 550.6	3.8	5.1	6.7	4.5	0.1	0.1
保健師	80.2	5 184.9	1.1	4.1	2.0	3.5	0.0	0.1
助産師	231.6	5 206.9	3.3	4.1	5.8	3.6	0.1	0.1
看護師	2 920.5	84 963.0	41.1	66.5	72.6	58.0	0.7	0.9
准看護師	2 686.2	89 697.4	37.8	70.2	66.8	61.2	0.7	0.9
看護業務補助者	1 467.4	31 931.9	20.6	25.0	36.5	21.8	0.4	0.3
理学療法士	235.3	6 683.0	3.3	5.2	5.9	4.6	0.1	0.1
作業療法士	70.9	1 804.6	1.0	1.4	1.8	1.2	0.0	0.0
視能訓練士	107.5	2 647.0	1.5	2.1	2.7	1.8	0.0	0.0
義肢装具士	1.4	81.3	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0
歯科衛生士	47.8	1 603.6	0.7	1.3	1.2	1.1	0.0	0.0
歯科技工士	7.1	196.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0
社会福祉士	82.3	2 239.0	1.2	1.8	2.0	1.5	0.0	0.0
介護福祉士	1 130.2	24 655.8	15.9	19.3	28.1	16.8	0.3	0.2
言語聴覚士	22.4	714.1	0.3	0.6	0.6	0.5	0.0	0.0
精神保健福祉士	60.5	1 432.7	0.9	1.1	1.5	1.0	0.0	0.0
診療放射線技師	327.0	8 672.6	4.6	6.8	8.1	5.9	0.1	0.1
診療X線技師	71.6	1 498.3	1.0	1.2	1.8	1.0	0.0	0.0
臨床検査技師	488.3	12 387.5	6.9	9.7	12.1	8.5	0.1	0.1
衛生検査技師	7.5	321.0	0.1	0.3	0.2	0.2	0.0	0.0
臨床工学技士	258.6	4 627.3	3.6	3.6	6.4	3.2	0.1	0.0
あん摩マッサージ指圧師	236.8	4 639.3	3.3	3.6	5.9	3.2	0.1	0.0
柔道整復師	340.9	2 930.8	4.8	2.3	8.5	2.0	0.1	0.0
栄養士	248.4	7 557.0	3.5	5.9	6.2	5.2	0.1	0.1
その他の技術員	347.3	9 732.5	4.9	7.6	8.6	6.6	0.1	0.1
医療社会事業従事者	101.6	1 862.5	1.4	1.5	2.5	1.3	0.0	0.0
事務職員	7 971.2	195 937.1	112.1	153.4	198.2	133.7	2.0	2.0
その他の職員	2 858.7	63 994.4	40.2	50.1	71.1	43.7	0.7	0.6

注) 非常勤の医師及び歯科医師については、当該施設の常勤医師及び歯科医師の通常勤務時間で換算した。

(9) 救急診療等の状況

ア 平成20年10月1日現在の救急告示診療所は16施設（一般診療所総数の0.4%）であり、前回調査時と比較すると1施設増加している。

イ 休日夜間救急センターは23施設（一般診療所総数の0.6%）であり、前回調査時と比較すると4施設増加している。（表20）

表20 保健医療圏別にみた救急診療等状況

	県計	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
平成20年											
一般診療所総数	3 960	382	323	519	826	270	432	418	339	364	87
救急告示診療所	16	2	-	5	2	1	-	1	4	-	1
休日夜間救急センター	23	2	2	4	3	2	2	3	1	3	1
在宅当番医制	673	88	56	138	71	54	94	66	34	49	23
精神科救急医療体制	15	-	1	2	5	1	1	1	1	3	-
	県計	東部	中央	西部第一	西部第二	比企	秩父	児玉	大里	利根	
平成17年											
一般診療所総数	3 778	560	1 350	829	187	130	89	84	260	289	
救急告示診療所	15	7	5	1	2	-	-	-	-	-	
休日夜間救急センター	19	5	5	4	2	-	-	-	2	1	

(10) 診療機器の保有状況

平成20年10月1日現在の診療機器の保有状況をみると、調査対象とした機器の中では、その他のCTが142施設（一般診療所総数の3.6%）と最も多く、人工透析装置の82施設（同2.1%）、マルチスライスCTの74施設（同1.9%）がこれに次いでいる。

一方少ないものは、RI検査（シンチグラム）、SPECT、ガンマナイフ・サイバーナイフの0施設（同0.0%）である。（表21）

表21 診療機器の保有状況（複数回答）

	平成20年				平成17年		
	施設数	保有割合	台数		施設数	保有割合	台数
一般診療所総数	3 960	100.0	-	一般診療所総数	3 778	100.0	-
マンモグラフィ	61	1.5	64	体外衝撃波結石破碎装置	1	0.0	1
RI検査(シンチグラム)	-	-	-	人工透析装置	73	1.8	2 611
SPECT	-	-	-	MRI	44	1.1	40
PET	2	0.1	4	X線CT装置	177	4.5	184
PETCT	2	0.1	3	PET	2	0.1	3
マルチスライスCT	74	1.9	74				
その他のCT	142	3.6	142				
MRI1.5テスラ以上	16	0.4	16				
MRI1.5テスラ未満	41	1.0	41				
人工透析装置	82	2.1	2 996				
ガンマナイフ・サイバーナイフ	-	-	-				

(11) 外来患者への処方せんの発行状況

ア 平成20年9月中の外来患者への処方せん延発行回数をみると、院内処方だけの施設は833施設（一般診療所総数の21.0%）、院外処方だけの施設は1,219施設（同30.8%）、院内外処方の施設は850施設（同21.5%）である。

イ 前回調査時と比較すると、院外処方せんを発行している施設は、407施設増加している。（表22）

表22 処方せんの発行状況

外来患者への処方せんの発行状況	平成20年		外来患者への処方せんの発行状況	平成17年	
	実施施設数	割合(%)		実施施設数	割合(%)
<b>一般診療所総数</b>	<b>3 960</b>	<b>100.0</b>	<b>一般診療所総数</b>	<b>3 778</b>	<b>100.0</b>
院内のみ	833	21.0	院内のみ	927	23.4
院外のみ	1 219	30.8	院外のみ	997	25.2
院内外	850	21.5	院内外	665	16.8
(再掲)院外	2 069	52.2	(再掲)院外	1 662	42.0

(12) 在宅医療サービスの実施状況

在宅医療サービスについて、平成20年9月中の実施施設数をみると、医療保険等による医療サービスは1,240施設（一般診療所総数の31.3%）、介護保険によるサービスは292施設（同7.4%）で行っている。（表23）

表23 在宅医療サービスの実施状況（複数回答）

	平成20年				平成17年		
	実施施設数	施設数に対する割合(%)	実施件数		実施施設数	施設数に対する割合(%)	実施件数
<b>一般診療所総数</b>	<b>3 960</b>	<b>100.0</b>	<b>・</b>	<b>一般診療所総数</b>	<b>3 778</b>	<b>100.0</b>	<b>・</b>
医療保険等による医療サービス	1 240	31.3	...	医療保険等による医療サービス	1 012	25.6	...
往診	790	19.9	6 523	往診	766	19.3	7 507
在宅患者訪問診療	519	13.1	15 232	在宅時医学管理	104	2.6	977
歯科訪問診療	5	0.1	50	在宅患者訪問診療	394	9.9	9 011
救急搬送診療	57	1.4	154	歯科訪問診療	6	0.2	107
在宅患者訪問看護・指導	113	2.9	1 270	在宅末期医療総合診療	16	0.4	150
精神科在宅患者訪問看護・指導	9	0.2	312	在宅患者訪問看護・指導	70	1.8	518
在宅患者訪問リハビリテーション指導管理	61	1.5	373	精神科訪問看護・指導	6	0.2	53
訪問看護ステーションへの指示書の交付	395	10.0	2 872	在宅訪問リハビリテーション指導管理	22	0.6	146
在宅看取り	94	2.4	143	訪問看護ステーションへの指示書の交付	265	6.7	1 897
介護保険によるサービス	292	7.4	...	在宅療養機器貸出し	195	4.9	2 174
居宅療養管理指導(介護予防サービスを含む)	203	5.1	7 172	介護保険によるサービス	256	6.5	...
訪問看護(介護予防サービスを含む)	63	1.6	722	居宅療養管理指導(医師によるもの)	224	5.7	4 270
訪問リハビリテーション(介護予防サービスを含む)	31	0.8	1 362	居宅療養管理指導(歯科医師によるもの)	-	0.0	-
				居宅療養管理指導(歯科衛生士等によるもの)	-	0.0	-
				居宅療養管理指導(薬剤師によるもの)	1	0.0	2
				居宅療養管理指導(管理栄養士によるもの)	2	0.1	13
				訪問看護	64	1.6	1 016
				訪問リハビリテーション	21	0.5	565

(13) 手術等の実施状況

ア 手術等について、平成20年9月中の実施施設数を前回調査時と比較すると、調査対象とした手術等のうちでは、内視鏡下消化管施設（25施設増）、人工透析（9施設増）などが増加し、分娩（7施設減）、帝王切開（8施設減）などが減少している。

イ 実施件数について前回調査時と比較すると、人工透析（489件増）、内視鏡下消化管手術（260件増）、分娩（198件増）が増加している。（表24）

表24 手術等の実施状況（複数回答）

	平成20年				平成17年				増減数	
	実施施設数	件数	施設数に対する割合(%)	1施設当たりの手術等件数	実施施設数	件数	施設数に対する割合(%)	1施設当たりの手術等件数	実施施設数	件数
<b>一般診療所総数</b>	<b>3 960</b>	-	<b>100.0</b>	-	<b>3 778</b>	-	<b>100.0</b>	-	<b>182</b>	-
全身麻酔(静脈麻酔は除く)	40	239	1.0	6.0	39	210	1.0	5.4	1	29
内視鏡下消化管手術	77	558	1.9	7.2	52	298	1.4	5.7	25	260
悪性腫瘍手術	20	62	0.5	3.1	13	30	0.3	2.3	7	32
胃がん(再掲)	8	11	0.2	1.4	-	-	-	-	-	-
胆嚢がん(再掲)	1	1	0.0	1.0	-	-	-	-	-	-
大腸がん(再掲)	9	25	0.2	2.8	-	-	-	-	-	-
前立腺がん(再掲)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
乳がん(再掲)	4	5	0.1	1.3	2	2	0.1	1.0	0.0	2
子宮がん(再掲)	1	1	0.0	1.0	-	-	-	-	-	-
胃・大腸がん(再掲)	-	-	-	-	10	25	0.3	2.5	-	-
外来化学療法	31	468	0.8	15.1	-	-	-	-	-	-
人工透析	82	74 205	2.1	904.9	73	73 716	1.9	1 009.8	9	489
分娩(正常分娩を含む)	64	2 351	1.6	36.7	71	2 153	1.9	30.3	△ 7	198
帝王切開娩出術(再掲)	52	361	1.3	6.9	60	305	1.6	5.1	△ 8	56
体外衝撃波結石破碎術	-	-	-	-	1	4	0.0	4.0	-	-
網膜光凝固術	-	-	-	-	102	625	2.7	6.1	-	-

(14) 検査等の実施状況

ア 検査等の実施状況について、平成20年9月中の実施施設数をみると、調査対象とした検査等のうちでは、骨塩定量測定<sup>1</sup>の803施設（一般診療所総数の20.3%）が最も多く、上部消化管内視鏡検査<sup>2</sup>の636施設（同16.1%）がこれに次いでいる。

イ 患者数についてみると、上部消化管内視鏡検査<sup>2</sup>の14,077人が最も多く、骨塩定量測定<sup>1</sup>の13,665人、マンモグラフィー<sup>3</sup>の10,196人がこれに次いでいる。

ウ 一般診療所1施設当たり患者数は、PETCT<sup>4</sup>の268.0人が最も多く、MRI1.5テスラ以上の<sup>5</sup>225.2人、マンモグラフィー<sup>3</sup>の167.1人がこれに次いでいる。（表25）

表25 検査等の実施状況（複数回答）

	実施施設数	患者数	施設数に対する割合(%)	1施設当たり患者数
<b>一般診療所総数</b>	<b>3 960</b>	<b>・</b>	<b>100.0</b>	<b>・</b>
骨塩定量測定	803	13 665	20.3	17.0
気管支内視鏡検査	7	34	0.2	4.9
上部消化管内視鏡検査	636	14 077	16.1	22.1
大腸内視鏡検査	234	3 357	5.9	14.3
血管連続撮影	4	32	0.1	8.0
DSA	1	8	0.0	8.0
循環器DR	-	-	-	-
マンモグラフィー	61	10 196	1.5	167.1
RI検査(シンチグラム)	-	-	-	-
SPECT	-	-	-	-
PET	2	65	0.1	32.5
PETCT	2	536	0.1	268.0
マルチスライスCT	74	5 398	1.9	72.9
その他のCT	142	6 479	3.6	45.6
MRI1.5テスラ以上	16	3 603	0.4	225.2
MRI1.5テスラ未満	41	4 654	1.0	113.5
3D画像処理	30	1 489	0.8	49.6
冠動脈CT・心臓MRI	3	157	0.1	52.3

(15) 業務委託の状況

平成20年10月1日現在の業務委託の状況についてみると、調査対象とした業務のうちでは、感染性廃棄物処理が3,061施設（一般診療所総数の77.3%）と最も多く、検体検査が2,865施設（同72.3%）、保守点検業務（医療機器）が2,137施設（同54.0%）で、これに次いでいる。（表26）

表26 業務委託の状況（施設数）

	給食減菌 (患者用)(治療用具)	保守点検業務 (医療機器)	検体検査	感染性 廃棄物処理	清掃	院内検体検査	
平成20年							
全部委託(院内)	70	143	126	53	2 976	518	・
全部委託(院外)	38	48	1 117	1 854			
一部委託(院内)	2	28	87	28	85	1 220	・
一部委託(院外)	2	108	807	930			
委託計	112	327	2 137	2 865	3 061	1 738	・
施設数に対する割合(%)	2.8	8.3	54.0	72.3	77.3	43.9	・
平成17年							
全部委託	105	53	862	・	2 575	368	1 375
一部委託	8	138	876	・	71	1 003	870
委託計	113	191	1 738	・	2 646	1 371	2 245
施設数に対する割合(%)	3.0	5.1	46.0	・	70.0	36.3	59.4

(16) 情報化の状況

ア 平成20年10月1日現在の電子カルテシステムの導入状況をみると、医療機関全体として導入している一般診療所は533施設（一般診療所総数の13.5%）、具体的な導入予定がある一般診療所は284施設（同7.2%）である。

イ レセプト処理用コンピューターの使用状況をみると、2,737施設（一般診療所総数の69.1%）の一般診療所で使用している。

ウ 遠隔医療システムの導入状況をみると、遠隔画像診断を行っている診療所は43施設（一般診療所総数の1.1%）、遠隔病理診断を行っている診療所は5施設（同0.1%）、在宅療養支援を行っている診療所は1施設（同0.0%）となっている。（表27）

表27 情報化の状況

	埼玉県		全国	
	実施施設数	施設数に対する割合(%)	実施施設数	施設数に対する割合(%)
<b>一般診療所総数</b>	<b>3 960</b>	<b>100.0</b>	<b>99 083</b>	<b>100.0</b>
<b>電子カルテシステムの導入状況</b>				
医療機関全体として導入している	533	13.5	12 939	13.1
医療機関の一部に導入している	62	1.6	1 663	1.7
具体的な導入予定がある	284	7.2	7 496	7.6
導入予定なし	3 081	77.8	76 985	77.7
<b>レセプト処理用コンピューターの使用</b>				
使用している	2 737	69.1	70 014	70.7
<b>遠隔医療システムの導入状況</b>				
遠隔画像診断	43	1.1	930	0.9
遠隔病理診断	5	0.1	196	0.2
在宅療養支援	1	0.0	44	0.0

(17) 患者数

ア 平成20年9月中の外来患者の延数は、3,978,861人であり、一般診療所1施設当たりの外来患者数は1,004.8人となっている。

イ 平成20年9月30日現在の在院患者数は、1,514人であり、有床診療所1施設当たりの在院患者数は4.2人となっている。(表28)

表28 一般診療所の患者数

	平成20年			平成17年		
	患者数	1施設当たり		患者数	1施設当たり	
		一般診療所 (3,960施設)	有床診療所 (362施設)		一般診療所 (3,778施設)	有床診療所 (379施設)
在院患者数(9月30日現在)	1 514	・	4.2	1 658	・	4.4
新入院患者数	4 768	・	13.2	5 379	・	14.2
退院患者数	4 701	・	13.0	4 955	・	13.1
外来患者延数	3 978 861	1 004.8	・	3 687 834	976.1	・
(再掲)初診患者数	556 948	140.6	・	455 324	120.5	・
(再掲)診療時間外受診者延数	45 686	11.5	・	23 921	6.3	・
(再掲)乳幼児延数	8 932	2.3	・	6 121	1.6	・

注) 平成20年9月1日から30日 在院患者数は、9月30日現在